

一乗谷 東郷

歩いてみよう自然と歴史



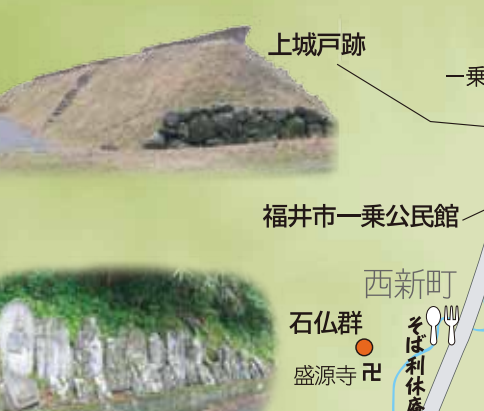
特別史跡・特別名勝 一乗谷朝倉氏遺跡・庭園

一乗谷は福井市街の東南約10kmの位置にあり、戦国大名朝倉氏の城下町の跡がそっくり埋もれていた。昭和42年から遺跡の発掘調査が進められ、昭和46年に、一乗谷城を含む27haが国の特別史跡に指定され、平成3年に諏訪館跡庭園、湯殿跡庭園、義景館跡庭園、南陽寺跡庭園の四庭園が特別名勝に指定された。

朝倉氏の歴史 朝倉氏は現在の兵庫県養父市八鹿町の豪族で、南北朝時代に朝倉広景が主家の斯波高経に従って越前に入国した。朝倉季景の代、1467年の応仁の乱での活躍をきっかけに一乗谷に本拠を移し、斯波氏、甲斐氏を逐放して越前を平定した。以後、孝景、氏景、貞景、孝景、義景と5代103年間にわたって、越前を中心として繁栄した。この間、京や奈良の貴族・僧侶などが下向し、北陸の小京都とも呼ばれた。しかし、1573年天下統一の刀根坂の戦いで織田信長に敗れ、朝倉氏は滅び、城下町も焼討ちにあって灰燼に帰した。



一乗谷あさくら水の駅
「人」と「水」との深いかわりをコンセプトにした体験・学習型施設。ホタルの飼育し、施設内のビオトープに放流している。6月にはホタルが乱舞する。水車で粉をひき、ふれあい情報館には、水や稲作について展示している。



三峯城跡 三峯城は三つの峰の交った城山の山頂部を中心に、南北朝時代(1337)に平泉寺(勝山)の僧兵によって造られた。暦応3年(1340)に落城後、戦国時代に一乗谷城の支城として活用された。

一乗谷・横山遊歩道フットパスマップHPへ
PC <http://e-togo.ddo.jp/itmap/index.html>
携帯 <http://e-togo.ddo.jp/itmap/k/index.html>

お問合せ：福井市一乗公民館 0776-43-2001
福井市東郷公民館 0776-41-0306

製作：一乗・東郷自然と歴史散策事業実行委員会 2011.3.31

凡例

食事処	駐車場	トイレ	バス停	サイクリング道	遊歩道	登山道・山道	展望休憩所	案内板	名所・旧跡・見所